

第38回全山陰少年サッカー選手権大会 開催要項

1 趣 旨

日本の将来を培う山陰両県の子どものサッカーへの興味・関心を深め、サッカー技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

子どもや周囲の大人が、サッカーの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。サッカー競技をとおした山陰両県の少年たちの交流を図るとともに、山陰両県の少年の成長とサッカーの発展を願う大会とする。

2 主 催 一般社団法人島根県サッカー協会/一般財団法人鳥取県サッカー協会

3 主 管 一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会

4 後 援 島根県教育委員会/出雲市教育委員会/日本海テレビジョン放送株式会社

5 特別協賛 こくみん共済 coop

6 期 日 2022年7月2日(土)～7月3日(日)

7 会 場 島根県立浜山公園陸上競技場・補助競技場

8 参 加 鳥取県, 島根県より各県4チーム 合計8チーム

9 参加資格

- (1) 鳥取県, 島根県において予選を勝ち抜いた各県を代表するチーム。
- (2) 大会実施年度に第4種加盟登録したチームであること。(準加盟チームを含む)
- (3) 上記団体(チーム)に所属する選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
- (4) 参加選手は公益財団法人日本サッカー協会発行の「加盟チーム」の選手証(写真貼付されたもの)を持参すること。選手証とは、公益財団法人日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧(エントリー表に記載した背番号を記入する)を印刷したものをいう。運営上の理由から必ず印刷したものを持参すること。
- (5) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ(D級以上)を有すること。
- (6) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (7) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- (8) 各県予選大会(本大会推薦のための大会)から本大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。

10 競技規則

公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。

11 競技方法

(1) 試合時間は、前、後半とも20分とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は10分とする。

(2) 試合は予選リーグを3試合行い、リーグの順位1位同士による決勝戦、2位同士による3位決定戦を行う。予選リーグは勝ち点(勝ち3点、分け1点)により順位を決する。勝ち点と同じ場合には、得失差、得点多、当該チームの対戦成績の順に決する。なお決しない場合には抽選により順位を決定する。

・7月2日(大会1日目)

4チーム総当たりのリーグ戦の内、2試合実施する。

・7月3日(大会2日目)

各リーグの残り1試合を実施する。リーグ3位、4位のチームがフレンドリーマッチ、リーグ2位のチームが3位決定戦、リーグ1位のチームが決勝戦に進出する。3位決定戦で勝敗が決しない場合にはPK方式にて勝敗を決する。決勝戦で勝敗が決しない場合には10分間の延長戦を行う。なお、決しない場合にはPK(3名)方式にて勝敗を決する。

(3) 試合当日に感染等の理由によりチームが不参加になった場合は不戦敗(0-3)とする。

12 競技のフィールド

(1) フィールドの長さは縦(タッチライン)68m以内、幅(ゴールライン)50m以内とする。

(2) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

13 試合球 少年用4号球を使用する

14 組み分け

Aグループ	Bグループ
島根県第1代表	鳥取県第1代表
鳥取県第2代表	島根県第2代表
島根県第3代表	鳥取県第3代表
鳥取県第4代表	島根県第4代表

15 競技者の数及び交代

(1) 1チーム8名の競技者により行われる。チームの競技者の内1名はゴールキーパーとする。

(2) 登録できる交代要員の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することが出来る。交代の回数は制限されない。交代用紙は使用しない。

(3) ゴールキーパーは事前に主審に通知した上で、試合の停止中に交代する。

(4) フィールドプレーヤーは、8人制ルールに基づく自由な交代とし、ピッチ中央の交代ゾーンから交代する。

16 ユニフォーム

(1) チームはエントリー表に登録したユニフォームを着用しなければならない。

- (2) 競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規程」に従うものとする。
- (3) 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (4) チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
- (5) ゴールキーパーは大会に登録されたユニフォームを着用する。
- (6) 緊急避難時に、フィールドプレーヤーがゴールキーパーになる場合、ショーツ、ストッキングは、その試合ですでに着用しているものでもよい。
- (7) GKは試合開始時にはGK登録のユニフォームを上下ともに着用すること。
- (8) アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じ色でなければならない。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、または、ショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- (9) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープの色はソックスの色と同じものに限る。

17 テクニカルエリア

- (1) ベンチに入ることが出来る人数は、交代要員8名、引率指導者3名とする。
- (2) テクニカルエリアにはその都度ただ一人の引率指導者のみが「戦略的指示」を伝えることが出来る。

18 審判員

- 予選リーグ、フレンドリーマッチは一人の主審と補助審判が指名される。
3位決定戦、決勝戦は一人の主審と二人の副審、第4の審判が指名される。

19 警告・退場

- (1) 本大会は日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設置する。
- (2) 大会規律委員会の委員長は開催県第4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。審判は補充が完了するまで試合を再開できない。
- (4) 本大会において、異なる試合において警告を2回受けた選手は、次の1試合への出場を禁ずる。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手・役員は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。
- (6) 本協会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

20 表彰

- ・優勝チームには優勝旗(日本海テレビ提供)とカップを授与する。
- ・準優勝チームにはカップ、3位チームには盾を授与する。表彰は第4位までとする。
- ・大会優秀選手を8名表彰する(両県技術委員会選考による)

21 大会登録について

- ・選手登録人数は16名以内とする。
- ・登録表はデータを電子媒体で登録表送信先まで送信すること。プログラム作成上、郵送、FAXは受け付けない。

- ・選手登録はエントリー表に必要事項を記入の上、6月14日(火)必着で送信する。

22 大会の中止について

以下の場合には大会前，大会中にかかわらず中止にする可能性がある。

- (1)鳥取県または島根県に緊急事態宣言が発出された場合
- (2)島根県内で行われるイベントの自粛等の要請が出た場合
- (3)選手，関係者等の新型コロナウイルス感染による活動制限が発生した場合

23 備 考

- ・登録後の選手変更は原則として認めない。変更がある場合には疾病傷害等の診断書を添えて、大会当日の監督会議までに一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会委員長堀江博生まで申請すること。
- ・大会参加費12,000円を大会当日徴収する。
- ・本大会中の選手の傷害について応急処置はするものの、主催者は一切の責任を負わない。
- ・開会式は行わない。、閉会式には上位4チームが参加すること。
- ・優勝旗は該当チームが出場しない場合には前回優勝県の第1代表が返還する。
- ・選手は選手証を持参し、大会期間中に大会本部にて確認を取ること。選手証を持参していない選手は大会に参加できない。選手証は紙媒体で提出すること。(一覧表による場合にはエントリー表の順に印刷したものを提出する)
- ・メンバー表は2部作成(1部本部提出，1部相手チーム)本部へは試合開始30分前までに提出すること。
- ・本大会の決勝戦を日本海テレビが中継録画し放映する。